



坐 緑萌ゆ

新宮小・中学校長だより 2023.4.13

感染症対策(マスクの着用)について

1 学期始業式で次のようなお話をしました。

春休み中は、大きな事故や事件もなく、今日、皆さんが元気に集まったことを大変ありがたく、すばらしいことだと思います。新年度のスタートをみんな揃って切ることができて大変よかったです。

さて、みなさんは WBC を観ましたか。私は野球観戦が好きなので、決勝戦以外の日本の試合は全てテレビで見ました。日本チームが決勝でアメリカチームに勝って優勝したことを知っている人も多いと思います。

今日は、その WBC で日本チームが前回優勝した 14 年前のメンバーであるイチロー選手についてお話しします。イチロー選手を知っていますか。(ほとんどの児童生徒が知っていました)イチロー選手はこのように数々の大記録を打ち立てています。そのなかで、100 年以上の歴史があるメジャーリーグの年間安打数(1 年間で打ったヒットの数)の新記録を打ち立てたときに話した言葉を紹介します。「いま、小さなことを多く積み重ねることが、とんでもないところへ行くただひとつの道なんだなというふうに感じています」という言葉です。周りからは天才と言われたイチロー選手も、生まれつきの天才ではなく、小さなことを積み重ねた末に大きなことを成し遂げることができているのです。大きな山も、一步一步登っていくしかない。逆に、一步一步登って行って、振り返ってみると高いところまで来ていることに気付くことがあるという事だと思います。

今日は、令和 5 年度のスタートの日、学校の 1 年間の始まりの日です。皆さんは、それぞれに新しい学年になって、「よし今年も頑張るぞ」という気持ちを、今もっていると思います。今の気持ちを大切に、よいスタートを切ってください。その頑張る気持ちを、しっかりもって、毎日丁寧に頑張ることで、一年間で、とんでもない成長につながると思います。

1 学期のスタートです。もう一段大きな声で元気なあいさつをしてみましょう。去年よりも、挙手を頑張ってみましょう。地区総合体育大会まであと 1 月半です。部活動頑張きましょう。

今のその気持ちを大切に、勉強や運動、学校行事に、精一杯頑張って、どんどん共に育ち、共に伸びていく令和 5 年度にしてほしいと思います。みんなで頑張きましょう。

〈感染症対策について〉

「新学期からの感染症対策については、四国中央市教育委員会教育長名で発出された「学校における感染症拡大防止に関する対応について(令和 5 年 4 月 10 日付)」でお知らせしたところです。文書では、マスクの着用について「学校教育活動に当たってマスクの着用を求めないことを基本とします」とあり、「但し、次のような場合にはマスクの着用をお願いする場合があります。」として次の 3 つが示されています。

- ・ 校外学習で混雑した電車やバスを利用する場合
- ・ 校外学習で医療機関や高齢者施設等を訪問する場合
- ・ グループで行う調理実習など「感染リスクが比較的高い教育活動」においてマスクの着用を推奨される場面など

マスクについては、個人の判断に任されている事を基本として、感染拡大防止のために協力を仰ぐ場面があることをご理解ください。なお、コロナ禍前より実施している給食準備の時は、マスクの着用をお願いしておりますので、以前と同じようにマスクの準備をお願いいたします。各教育活動についても、社会的に緩まってく中での感染状況を見ながら、慎重に制限を緩和していきたいと考えております。音楽の合唱については距離を取ってマスクなしでの合唱を再開します。まだ時期ではありませんが、家庭科の調理実習も実施します。給食の食事中には、黙食は求めませんが大きな声での会話は控えるように指導いたします。

前出の文書では、体調管理や、体調不良の場合は外出を控えるなどの対応を継続していただきたい旨も記されておりました。ご協力のほどよろしく願いいたします。